

# ゆうあい ほっとらいん

令和元年 8月・9月号  
第272号



公益財団法人  
調布ゆうあい福祉公社  
調布市国領町3-8-1  
☎042(481)7711 FAX042(483)4378

## 平成30年度事業報告

### 【健全な公社経営】

平成30年度は、平成28年度に策定した経営再建計画の最終年度として、引き続き、訪問介護事業、居宅介護支援事業、入間町地域密着型認知症デイサービス「ぶちぼあん」の自主三事業トータルで、黒字決算を維持しました。

受託事業では、調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業で、新たに個別機能訓練プログラムの導入し、加算取得に努めました。

### 【運営体制の強化・整備】

人材の確保と育成を、最重要課題と位置づけ、専門研修は元より、ハラスメント研修や法令順守に関する研修、またロジカルシンキング(論理的思考)研修などを実施しました。

### 【施設改修の計画・準備】

一部の事務室で、未設置であった空調機の設置工事を行いました。浴室の改修については、調布市との協議を継続していきます。

### 【30周年記念事業の実施】

多数のご来賓や協力会員等をお招きし、公社設立30周年の記念式典を開催しました。協力会

員や個人ボランティア・ボランティア団体等を表彰するとともに、高額寄附、継続寄附をされた方々に感謝状を贈呈しました。  
【地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の充実】

積極的な協力会員等の募集に努め、新規登録者を増やしたほか、詐欺被害や老年医学など身近な題材を基に研修を開催し、生活改善や地域づくりに繋がる活動を展開しました。また、地域の介護職員初任者研修などへ、講師として職員を派遣するなど、福祉人材育成の一翼を担いました。

### 【認知症当事者と家族介護者支援の拡充】

認知症サポーター養成講座事業では、およそ千五百人のサポーターを養成しました。サポーターへの支援として、「活躍の場リスト」を更新し、配布などを開催しました。家族介護者支援では、介護技術講座を開催したほか、出張介護技術講座としてホームヘルパーを出張派遣するモデル事業を実施しました。

### 【介護保険報酬改定への対応】

居宅介護支援事業、訪問介護

事業、通所介護事業において、改正内容に対応した体制の変更や、契約書類の整備等を行いました。

### 【医療介護連携の推進】

医療・介護の各種団体等と連携し、「ちよふ高齢者応援大会」を共催しました。

### 【地域共生社会の推進】

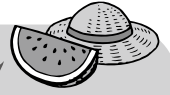
小・中学生の親子を対象に、食事サービスの協力会員と協働し、ゆうあい福祉セミナー『親子で作る！飾り巻寿司』を開催し、多世代交流を図りました。

平成30年度収支決算の状況

(単位：円)

収入の部	決算額	支出の部	決算額
事業収入	346,827,852	高齢者・障害者等支援事業	448,597,388
補助金等収入	186,710,717	普及啓発・人材育成・調査研究開発事業	7,437,553
その他の収入	12,780,320	管理費	79,180,923
収入合計	546,318,889	支出合計	535,215,864
		当期収支差額	11,103,025
		前期繰越収支差額	45,228,676
		次期繰越収支差額	56,331,701

※その他の収入とは基本財産受取利息と賛助会員費収入・負担金収入・寄付金収入・雑収入の合計  
※公社ホームページの「公示・情報開示」に事業報告書、財務諸表を掲載しております。



## 介護予防・日常生活支援 総合事業(市基準サービス)



『楽しい仲間と続けられる運動で、いつまでも生き生きと!』をスローガンに週3回(月・水・金)午前中に、3時間ほど全身のストレッチや筋力トレーニングなど様々な運動を行っています。  
事業対象者や要支援の方々、しっかり身体を動かして、「身体がすごく楽になった」、「姿勢が良くなった」と、うれしいお声を寄せてくださいます。参加されていらつしやる方々は、会話も弾み、皆さん楽しく過ごされています。

## 対抗ゲーム



今年もまた、曜日ごとに紅白対抗戦ゲームを行いました。『物送りゲーム』・『雨々降れ降れゲーム』に加え、新たに『万歩計ゲーム』も登場しました。また、来年の東京オリンピックを先取りし、五輪マークを作ったり、首に金メダルや銀メダルを掛けてもらったりで、皆さん、とても喜ばれていらつしました。



## 6・7月の活動報告

### ☆来訪

- ・ハナ・フラレイ (6月6日)
- ・二胡演奏《松前さん》(6月17日、7月23日)
- ・小波会 (6月22日)
- ・ぬくもりの会 (6月26日、7月10日・24日)
- ・ピアノ演奏《田澤さん》 (6月28日)

### ☆行事

- ・ドルチェ (7月11日)
- ・JAフラダンス (7月12日)
- ・みどりの会 (7月16日)
- ・ラルゴ (7月18日)
- ・対抗ゲーム (6月3日～5日、6月13日～15日)
- ・七夕 (7月1日～15日)

## 8・9月の活動予定

### ☆行事

- ・夏祭り
- ・敬老会

### ☆個人ボランティア

- 5月延べ 40名
  - 6月延べ 33名
- 皆様のご協力ありがとうございました。

### ☆お礼

タオルのご寄附、ありがとうございます。引き続きタオルのご寄附をお願いします。

## 新人紹介

デイサービス係に、介護職員と送迎車のドライバーの職員が新しく配属されました。どうぞよろしくお願ひします。



たけやま ひろこ  
武山 弘子

前職のリハビリのデイサービスの経験を活かして、体操や機能訓練を通して、皆様との交流を楽しみながら、私自身も成長していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



いしはし しゅんいち  
石橋 俊一

今迄22年に渡り、タクシーの運転手をして参りました。その中で、お年寄りの方々と接しているうちに、送迎だけではなく、乗り降りのサポートなど、もつと役に立ちたいと考えようになりました。安全第一に、ご利用者の皆様に安心していただける運転を、心がけてまいります。

# 地域包括支援センター ゆうあいより

## ■民生児童委員と広報協力員との連絡会の開催

6月11日(火)(第2地区対象)と6月24日(月)(第4地区対象)に、民生児童委員と広報協力員との連絡会を開催しました。

両日あわせて17名の民生児童委員と広報協力員が出席し、日頃、見守りネットワーク事業(みまもつと)に協力する中で、多い相談事や、地域による特性などについて、活発な意見交換や情報交換を行いました。

民生児童委員、広報協力員、地域包括支援センター職員が、それぞれの活動を知り、今後とも良い連携が図れるよう、顔の見える関係づくりができました。



## ■『誤嚥性肺炎って知っていますか?』出張説明会の報告

6月23日(日)に、調和SHC倶楽部で、誤嚥性肺炎について出張説明会を開催しました。

肺炎は、近年、日本人の死亡原因の第3位に上げられています。今回は、特に高齢者に多い誤嚥性肺炎について、予防方法や食事内容、また、お口の体操等の話を、言語聴覚士の山崎暁氏(篠原訪問看護ステーション)をお招きし、講義していただきました。

参加者からは、「元気なうちに、肺炎予防に取り組む重要性が、よく理解できた」との声がありました。



出張説明会では、参加者にもまもりネットワーク事業のPRを行っています。

## ■令和元年度 第1回地域ケア会議の開催報告

6月28日(金)に、『認知症になっても安心して暮らせるまち(迷い人の事例を通じて)』をテーマに、第1回地域ケア会議を開催しました。

会議には、民生児童委員、広報協力員、地域の各種団体やケアマネジャーをはじめとした介護専門職の皆さんにご参加いただきました。

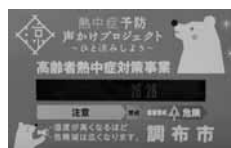
講師には、主任ケアマネジャーであり、看護師である大木智恵子氏をお招きし、認知症による生活支障を、個人や家族の問題として捉えるのではなく、地域の課題として理解するグループワークを行いました。問題解決への、多くの意見交換があり、有意義な場となりました。



## ■熱中症予防カード配布中

例年、夏季の猛暑による熱中症の健康被害が、数多く報告されています。被害を受けた方の半数以上は、65歳以上の高齢者です。

調布市では、熱中症の危険性を表示するカード型温度計を、70歳以上の方を含む全世帯に配布し、注意喚起をしています。熱中症対策としては、「瞬間冷却パック」や「ネッククーラー」などのグッズの活用も有効ですので、積極的にご活用下さい。



カード型温度計

## 新人紹介



地域包括支援センター係  
かわしま まほ  
川島 麻穂

看護師として働いてきました。今回初めて保健師として地域に出るため不安ですが、先輩方から知識や経験を吸収し、早く一人前になれるよう努力していきたいと思っております。

## 食事サービス レシピご紹介

生姜パワーで、猛暑を乗り切る！

### “鶏肉のソテー 香味ソース”

～夏野菜添え～



#### 材料 (2人分)

- 鶏モモ肉……2枚 (150g)  
 A [ 塩・胡椒……各少量  
 酒……大さじ1  
 生姜 (おろし) ……小さじ1  
 油……適量  
**◆香味ソース**  
 油……適量  
 生姜……小さじ1 (みじん切り)  
 長ネギ……20cm (みじん切り)  
 B [ 醤油……大さじ2  
 酒……大さじ2  
 水……大さじ2  
**◆添え野菜**  
 カボチャ、ブロッコリー  
 人参など適量

※添え野菜は、インゲン、ピーマン、じゃがいも、なすなどの冷蔵庫にあるものを活用してもいいです。

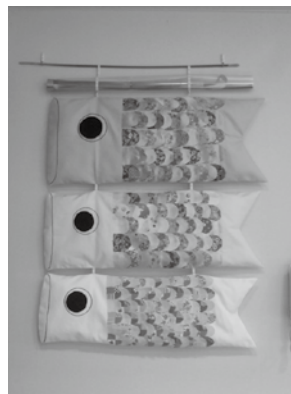
#### 作り方

- 1 鶏肉は、厚いところに切れ目を入れ、厚みが均一になるように開く。
- 2 1の鶏肉に、Aの調味料とおろし生姜で下味をつけておく。
- 3 かぼちゃは5ミリ程の薄切り、人参は5ミリ程のイチョウに切り、ブロッコリーは小房に分ける。鍋に人参と水を入れ茹で、人参が少しやわらかくなったらブロッコリーを入れ食べやすい硬さに茹でる。
- 4 フライパンに油を中火で熱し、2の鶏肉の皮を下にして入れ、蓋をしながら焼く。こんがり焼き色がついたら、ひっくり返して裏面もしっかり焼く。鶏肉の油が出ているようであれば、ペーパータオル等でさっと拭く。
- 5 同じフライパンで、かぼちゃも一緒に入れて、両面を焼く。皿に鶏肉とかぼちゃを盛り付け、3の野菜を添える。
- 6 同じフライパンに油をひき、みじん切りにした生姜と長ネギを中火で炒め、Bの調味料と水を入れ、ひと煮立ちさせる。
- 7 5に、6のソースをかけてできあがり。

★香味ソースは分量が多めにできるので、冷蔵庫で2～3日は保存できます。白身魚のソテーや温野菜、豆腐にかけてもおいしく召し上がれます。

### ぷちぽあん通信

◆5月に、ぷちぽあんでは、鯉のぼりを製作しました。  
 生地を採寸し、利用者の方には、鱗を貼る作業を行っていただきました。左が完成品の写真です。写真では伝わりにくいのですが、実物は約1メートルの大作です。記念撮影も行いました。



◆ぷちぽあんでは、年2回、利用者のご家族や、地域の民生児童委員、地域包括支援センターや他施設の職員等をお招きし、運営推進会議を開催しています。  
 今年度は、第1回を5月28日(火)に開催し、活発な情報や意見の交換ができました。この議事録は、ぷちぽあんで閲覧可能です。

◆ぷちぽあんの利用者の中に、ピアノを弾ける方が何名かいらっしゃいます。その方たちが、お昼休みにピアノがある部屋に集まり、演奏や音楽にまつわる昔話などで、楽しいひと時を過ごされています。



#### 一緒に活動しませんか

水曜日の午前中に、利用者の皆さんへ飲み物を入れて下さる方を、募集しています。興味や関心をお持ちになった方は、ぜひ、ご連絡ください。連絡先は、左記のとおりです。お待ちしております。

【問い合わせ】ぷちぽあん  
 ☎03(3483)1681



**協力会員定例研修会報告『ユマニチユード』をやってみよう**

5月30日(木)に、DVD『優しい認知症ケア・ユマニチユード』の実技編『ユマニチユードをやってみよう』を鑑賞し、参加者で意見交換を行う、協力会員定例研修会を、開催しました。参加者からは、「ユマニチユードの技術を身に付け、認知症の方と良好な関係を築きたい」、「もう少し深く学び、実践していきたい」、「見る・話す」は、日々の協力会員活動の中でも活かせる」、「『相手を思いやり、いかに優しく接するか』、その技術とポイントが学べた」、「とても良い研修でした。今後の活動に活かしていきたいです」等の感想があり、活発で盛況な研修会となりました。



**協力会員対象『ランチ交流会』開催報告**

7月2日(火)午前11時から、公社2階において、協力会員対象の『ランチ交流会』を開催しました。当日は、7名の参加者があり、日頃の協力会員活動で感じるさまざまな思いを、それぞれが語り合う時間が持てました。会員活動を始めたばかりの方からは、先輩の経験談が勉強になったとの感想がありました。公社では、定期的にこのような交流会や研修会を開催し、協力会員同士が顔を合わせる場を設け、交流の機会を増やしていきます。今後、ほっとらいんやチャシ等でお知らせしますので、ぜひ、ご参加ください。



**民生児童委員協議会での出張説明会の報告**

公社が展開する三種類（ホームヘルプサービス・食事サービス・ちよこつとさん）の住民参加型サービスや、会員制度の仕組みに関する出張説明会を、4月25日の第3地区を皮切りに、市内各地域で開催されている民生児童委員協議会で行っています。説明会では、具体的なサービス事例を紹介するとともに、公社の概要や他に展開する様々な事業等についても触れていきます。地域でご活躍される民生児童委員の皆様は、公社の事業を知っていただく良い機会となります。



**新人紹介**

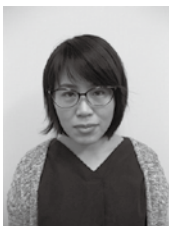
訪問介護係と管理係にも、新しい職員が入職しました。

■訪問介護係 登録型ヘルパー  
成田 恵里



優しくご指導いただきながら、楽しく仕事をしています。頑張りが過ぎずいい仕事を長く続けていきたいと思っています。

■管理係 事務員  
梯 郁奈



まだまだ不慣れですが、教わった業務をしっかりとこなす、貢献できればと思います。

■管理係 事務員  
畠山 秀信



「二つの事に沢山の気持ちを入れたかが大切」、ある偉人の言葉です。一つの仕事に丁寧である様、心掛けています。

## 協力会員サロンのご案内

公社では、各地域に出張し、協力会員の方々から、日頃の活動報告をお受けする場として、協力会員サロンを開催しています。

今回は、8月30日(金) 午後1時30分から、菊野台地域福祉センターで、開催します。

ホームヘルプサービスの活動をされている協力会員さんからは、「他の協力会員の方と交流する機会がなかなかない」といった声も多くいただいていますので、この機会にサロンにご参加いただき、協力会員の交流の場として、活用していただければと考えています。

協力会員の皆様、ご出席をお待ちしております。



## 第2回協力会員定例研修会 (公開講座)『コミュニケーションスキルアップ研修 傾聴を学ぼう』のご案内

”傾聴“は、カウンセリングやコーチングにおけるコミュニケーションスキルの一つです。

今回は、海外で傾聴を学ばれ、長年、日本各地で傾聴ボランティアの普及に、ご尽力されてこられた鈴木絹英先生をお招きし、演習を交えながら聴く技術を学びます。

支え合いの活動のなかで、ご利用者様と、よりよい関係を築くために、この機会に傾聴について、一緒に学びましょう。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

【日時】 9月27日(金)

午後1時～2時30分

【場所】 調布市市民プラザあくるす ホール1

【対象】 協力会員・登録ボランティア・市民

【講師】 NPO法人日本傾聴ボランティア協会  
理事長 鈴木絹英氏

【申込み・問い合わせ】  
住民参加推進係

☎042(481)7711

## 認知症サポーターフォー アアップ講座のご案内

『認知症の方の世界を知ろう』と題して、認知症サポーターフォローアップ講座を開催します。

これは、認知症サポーター養成講座を、すでに受講されている方を対象とした講座で、認知症への理解をより深化させるためのステップアップ講座です。

講座では、講義の他に、『認知症の方の世界を知ろう』をテーマに、受講者の皆様に認知症の模擬体験もしていただきます。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

【日時】 10月5日(土)

午後2時～4時

【場所】 総合福祉センター2階  
201～203会議室

【対象】 認知症サポーター養成講座受講経験者で、市内在住もしくは在勤・在学の方

【講師】 聖徳大学 心理・福祉学部 心理学科  
准教授 北村世都氏

【定員】 30名(先着順)

【参加費】 無料

【申込み・問い合わせ】  
住民参加推進係  
☎042(481)7711



## お詫びと修正

前号(6月・7月号)のほつとらんの記事に、誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫びいたします。

6頁『デイサービスボランティア募集』の記事で、「お申し込みご相談 活動先」②が、『認知症対応型値通所』と表記されていましたが、正しくは『認知症対応型通所』です。

## ご寄附ありがとうございます

田村 清治様 レジ袋・タオル  
山元 稔様 けん玉  
老人会きららクラブ  
フラダンス衣装 10着程度

会員状況(令和元年6月末現在)  
○利用会員 296世帯(373人)  
○協力会員 284人  
○賛助会員 個人207人  
法人 8団体